

マイケル・ニコル・ヤグラナス氏と腕比べする日本の漫画家の略歴 - グローバル・コモン 2 ステージで午後 2 時 30 分に -

5月8日

鈴木ヒラク: ライブペインティング界における求道者。国内でのライブペインティング界を kami とともに牽引し続けるアーティストである。その作品全てがライブに集約され、各地の泥をオリジナルで溶きだした塗料を使用するなど、オリジナリティ溢れる手法から、五感全てを動員し、アスリートを彷彿とさせるアクションで描き出す。次々と描かれては塗りつぶされ掻き消されながら完成へと向かっていくダイナミズムは唯一無二である。

5月9日

kami: 鈴木ヒラクと同様に、初期からライブペインティングの活動を広め、国内外問わず、様々なアーティストのコラボレーションを成功させている。強烈な意志を反映するような力強い色相の作品から、現在のペインティング界において最も影響力を持ったアーティストの一人。今回はどのようなアプローチで攻めてくるかが楽しみである。濃密な45分を提供してくれること間違いなし。

5月10日

yamao: 現在、もっとも勢力的に活動しているデュオアーティスト DOPPEL の一人。パートナーの monmon と全国各地を飛び回っては数々のライブ・作品を残し続けている。ペインティングデュオとしての表現を確立しただけでなく、センス・テクニック共に最高峰を誇っている。トライバル模様と、高度なスキルによってえがかれる人物画の融合は、一枚の絵画の枠を超えて迫ってくる迫力がある。今回はそれぞれソロでのアクトだが、そのスキルと表現力がより一層際立つことだろう。

5月13日

monmon: 現在、もっとも勢力的に活動しているデュオアーティスト DOPPEL の一人。パートナーの yamao と全国各地を飛び回っては数々のライブ・作品を残し続けている。ペインティングデュオとしての表現を確立しただけでなく、センス・テクニック共に最高峰を誇っている。トライバル模様と、高度なスキルによってえがかれる人物画の融合は、一枚の絵画の枠を超えて迫ってくる迫力がある。今回はそれぞれソロでのアクトだが、そのスキルと表現力がより一層際立つことだろう。

5月14-15日

マストワン: 複合アートプロジェクトチーム「他社比社」のエース。今回のメンバーの中では最も漫画的な作風ながら、いわゆるマンガと言う表現からは最も遠いとも言える。それは、マンガ・アニメ・ゲームといった現代において最も影響力のあるアイコンをさらに記号化することによって、そのストーリーやバックボーンをその時代から切り取り、完全に独立した、暴力的なまでに濃縮されたポップアイコンへと昇華させることに成功しているからである。マンガを読むスピードとまるで同じ速度で描き出されるラインは、ある意味アニメ的でもあり、ある意味自然現象にも似た完成度を見せるだろう。